

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

令和 4年 8月 17日

(宛先)狭山市長

団体名 いりそら

所在地

代表者名 宇都宮 瑞恵

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業・行政提案型協働事業
2 事業名	いりそらマルシェ
3 事業期間	令和4年9月1日～令和5年2月末日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	210,420円(補助金申請額150,000円)
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	令和4年11月27日に入曽駅前商店街の一角にて「いりそらマルシェ」を開催します。 ①市民が入曽のまちに興味を持つ ②クリエイターが活躍できる場を作り、それに興味を持った市民が集う ③次世代を担う若者世代へ地域参画の機会を提供 ①、②、③を目的としたマルシェをまちづくりのスタートアップとし、コロナ禍で失われつつある市民交流を促進します。 加えて、入曽地域交流センターや自治会等、地域の核となる施設・団体等とも連携し、地域交流を推進します。
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 いりそら

1 事業名	いりそらマルシェ
2 事業の詳細	<p>2022年11月27日の日曜日、入曽駅前商店街の一角でマルシェ(市場事業)を実施するもの。地元商店街からの出店はもちろんのこと、クリエイターによる作品の販売、地場産野菜の販売、音楽等のライブ活動などを行い、市民交流を促進する。</p> <p>また、近年では、全国的な傾向として商店街の衰退が課題となっている。入曽駅前商店街もその例外ではなく、空きテナントが目立つようになってきている。この事業を通じて、空きテナントで新規事業に挑戦する人材発掘も企図する。</p>
3 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いりそらの役員、会員、出店者</li> <li>・地域のボランティア</li> <li>・学生ボランティア</li> </ul> <p>※庶務・事務連絡等については、いりそらが運営実施母体として行う。</p>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日実施事業の企画、調整</li> <li>・商店街関係者、出店者、お客様への説明や告知</li> <li>・当日の運営、会場設営</li> <li>・その他、運営に必要な警備や交通整理等</li> </ul> <p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種申請手続(道路占用許可等)の補助</li> <li>・イベントの広報活動</li> <li>・当日の運営補助</li> <li>・協働可能な他団体との連絡調整等</li> </ul>
5 協働の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街や地域住民に安心感を与えイベントのスムーズな開催が可能となる</li> <li>・道路占用許可申請等の補助により、許認可申請がスムーズに行える</li> <li>・広報さやま等を活用し、イベントを幅広く周知することが可能となる</li> </ul>
6 事業のアピールポイント	<p>・地域住民はもちろんのこと、市全域に対しても、入曽地区の魅力を発信することができる。また、若者世代の地域参画も期待され、次世代を担う若者世代と既存の地域活性化に資する市民や団体等との交流をも促進する。さらに、生活必需品や食料品などを購入するといった商店街機能にとどまらず、商店街がまちづくりの拠点・核として機能するようになり、将来的に空き店舗の減少の一助となることも期待される。</p>